

人を繋げば町は輝く 1

青柳良明(57歳)・・・京都文化塾ぶろだくしょん(塾長:寺脇研京都造形大教授

顧問:牧野圭一京都精華大名誉教授

世話役:高嶋加代子 京都ラジオカフェ企画室長、
青柳良明 学校法人未来学園副学園長)

yagi-6128422310aoyagisun@w8.dion.ne.jp



どなた様もお気軽に参加できる情報交換の場。参加するときっといいことがあります。学生・若者・アーティスト大歓迎です。もちろん、社会人、オジサンたちも。

情報交換内容 ①塾長講話:仮題「京都で映画を作っています」寺脇研京都造形芸大教授

②世話役近況:仮題「京都で学校を作っています」

青柳良明学校法人未来学園副学園長

③大交流会・自由懇談・会食タイム

④参加者提言:当日参加者より活動アピール

⑤スペシャルメッセージ:当日のお楽しみ

⑥解散 (名刺を沢山ご用意ください。名刺は50枚程度。

名刺以外でもチラシ・パンフレット持参配布歓迎です。)

高校を出た後、京都府庁に就職。仕事と平行し立命館の夜学に通った。法学部から文学部へ、その後、歴史的地名のいわれを学び8年かけて卒業した。府庁では観光・コンベンション関係の仕事に従事していた。絶えず前例のない新しいことをしてきた。所得の変化をグラフにして児童手当との関係を研究したりした。京都の国民文化祭に携わった時は400万人の来場者を迎え大成功に終わった。平成23年には京都を文化年とした。

高校のころから長いこと少林寺拳法をやってきた。5段になり将来は先生になりたかった。少林寺拳法のお陰で仕事以外のネットワークが出来た。

平安遷都の1200年、京都の街はすごいな!と思った。この経験、人のネットワークが国民文化祭に繋がった。

京都文化塾ぶろだくしょんは年配者と若者との意見交換の場です。飲みながらの・・・

年配者と若者との出逢いの場がない・・・のコメントから始めたもので毎回50名ほどが参加している。

そこでの話題から、国際漫画ミュージアムが出来上がった。京都には漫画に理解のある人が多い。牧野先生が漫画神社(拠点)があったらよいのに・・・の発想から、紆余曲折はあったが国際漫画ミュージアムが出来た。

若い人は自分の持っているものを聞いて欲しい・・・の気持を持っている。大人達は若者のアイデアを引き出すことが大切。(場・チャンス)
人が好きで京都にお返ししたい!の気持が大きい。

今は閉塞感が強いと言われる。ネット社会では顔がみえない。が、たとえ小さな場でも、座をつかって直接、顔をみながら話し合うと新しい展開が開ける。

観光での地域おこしを5年間、同志社大学で教えた。京都と奈良の合間の井手町にスポットライトをあてた。地域の人々の声を聞き、大学生を中心に「大人の修学旅行」プログラムを作成した。

炭焼き体験、山菜野菜料理づくり・・・

参加者には奥深い京都での体験が出来た!・・・と喜ばれている。

種をまくきっかけづくりが出来た。

人との付き合いにはメールを上手に利用している。

メールを出せば返事が来る。反応がある。

今は8000人の人にメールマガジンで近況を送っている。

毎月一回発信しておくことと次にあった時、すぐに親しくなれる。

人の輪が広がる。

自分のメールには「お陰様に・・・」の言葉がよく出てくる。

「たまたま」ご縁があり、めぐり合った仕事は断らないようにしている。その人は60億人の代表なのだから・・・

そこで自分のベストを尽くすことにしている。

河合隼雄文化庁長官には大きな影響を受けた。

河合さんはいつも「日本を文化で元気にしたい!」と

言っておられた。

「面白い」と「おもしろい」は違う。「おもしろい」は[かつこよい]

の意味を持っている。

関西元気文化圏を広げたい!